INTERVIEW

自然の破壊力は大きい 繁藤大災害を語り継いでほしい

豪雨・繁藤山崩れ災害（繁藤大災害）の一次災害発生前から現場にいた、同遺族会会長の西岡統一さんにお話を伺いました。

繁藤災害遺族会会長
西岡 統一（にしおか とういち）さん（土佐山田町角茂谷）

一次災害発生前

追廻し私設消防団長であった西岡さん（当時32歳）は、朝5時ごろから同地区の住宅に土砂が流れ込み、土砂を取り除く作業にあたっていました。この家は、一次災害の起きた現場の家の裏隣でした。

西岡さん「現場は雨が肩に重たいほど降っていた。作業の休憩の際、一次災害で生き埋めになった消防団員にも休憩を呼びかけた」

西岡さんは、一次災害現場のすぐ近くで休憩を取っていましたが、雨の音がすさまじく、ヘルメットの上にカッパを装着していたとはいえ、土砂崩れが起きた音にも気づかないほどの大雨が降っていたそうです。

大崩壊の予兆

西岡さんは一次災害後、ショベルカーでの救助活動を見守り、現場前で新聞社の取材を受けていました。

西岡さん「10時ごろになると雨も少なくなった。このころ、土管もない山の中腹から、大量のわき水が流れ出していた」

ショベルカーの運転手が「こりゃいかん、水が止まった。こんなところにおれんぞ」と作業をやめたその後、4度目の山崩れが起きて、ついに5度目の大崩壊が起きました。

大崩壊

大崩壊の様子を西岡さんは次のように話しました。

西岡さん「地揺れがあり、雷を10個落としたような大音響とともに山が崩れた」

母との別れ

西岡さんのお母さんは、日赤奉仕団に所属し、一次災害のあと、現場近くの美容院から花嫁衣裳を駐在所へ運んでおり、大崩壊により亡くなられました。

西岡さん「もう男手もあるき、家に帰りと言ったのが母との最後の会話だった」

遺族の団結

大崩壊後、行方不明者や犠牲者の遺族の間で、はかどらない捜索作業に対する不満が出ていました。作業に家族らの声を反映させようと、災害から2日たった7月7日、西岡さんら遺族は土佐山田町繁藤遭難遺族会（代表＝坂本宗喜・西岡統一）を立ち上げました。

自然の脅威

西岡さん「東日本大震災の映像を見て、災害当時の捜索状況を思い出した。自然の破壊力は大きい。繁藤駅に停まっていた列車は土砂に飛ばされ、川を飛び越えて向かい側の山にぶつかり、スクラップになった」

西岡さんはこのような悲劇を二度と繰り返さないためにも、この災害を語りついでほしいと話しました。

忘災にしない

「災害は忘れたころにやってくる」と言われます。
災害を忘れないということも減災につながります。

▲毎年、7月5日に哀悼の広場（土佐山田町角茂谷）で繁藤山崩れ殉職・殉難者追悼慰霊祭が執り行われています。慰霊祭では、新改川で流され亡くなった1名とあわせて、61名がまつられています。慰霊祭の前には、繁藤小中学校の児童生徒が自分たちで折った千羽鶴を供え、黙とうを捧げています。

▲繁藤大災害現場

危険を知る

土砂災害の危険箇所や降雨量による災害の予測を行い、
自然をあなどらないことが、あなたの身を守ります。

前兆現象を知り、土砂災害を回避する

急斜面が崩れ落ちる災害

がけ崩れの前兆

- ▶がけから水がわき出る
- ▶がけにひび割れができる
- ▶小石がパラパラと落ちてくる
- ▶わき水が濁る・止まる
- ▶地鳴りがする

地層が滑り落ちる災害

地滑りの前兆

- ▶地面にひび割れや陥没ができる
- ▶がけや斜面から水が噴き出す
- ▶井戸や沢の水が濁る
- ▶地鳴り・山鳴りがする
- ▶樹木が傾く
- ▶亀裂や段差が発生する

大量の水と土砂が流れる災害

土石流の前兆

- ▶山鳴りがする
- ▶腐った土の匂いがする
- ▶急に川の水が濁り、流木が混ざり始める
- ▶雨が降り続いているのに川の水位が下がる
- ▶立木がさける音や石がぶつかり合う音が聞こえる

1時間の降雨量	雨の降り方と災害予測
10～20㎜ やや強い雨	ザーザーと降る。地面からの跳ね返りで足元がぬれる。話し声が良く聞き取れない。地面一面に水たまりができる。
20～30㎜ 強い雨	どしゃ降り。傘をさしてもぬれ、寝ている人の半数が雨に気付く。車のワイパーを速くしても見づらい。側溝・下水・小川があふれ、小規模ながけ崩れが始まる。
30～50㎜ 激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。道路が川のようになる。車は高速走行時、ブレーキがきかなくなる。がけ崩れが起きやすく、危険地帯では避難が必要。
50～80㎜ 非常に激しい雨	滝のように降る。傘は役に立たない。水しぶきで一面が白くなり、視界が悪くなる。車の運転は危険。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80㎜以上 猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。大規模災害の発生について厳重な警戒が必要。

土砂災害は、一般に1時間20ミリ以上、または降り始めてから100ミリ以上になったら十分な注意が必要です。

市では、香美市における河川のはんらんなどによる浸水想定区域や土砂災害の危険箇所など、災害時の避難箇所等を表示した**防災マップ**を作成し、**香美市防災のてびき**に挟み込み、各家庭に配布しています。今一度ご確認され、災害時の減災対策としての活用をお願いします。防災マップは香美市公式ホームページにも掲載しています。

香美市公式ホームページ
www.city.kami.kochi.jp/
トップページ→防災情報→最新防災情報→防災対策推進班→香美市ハザードマップ

▲香美市防災のてびき